

### 新年を迎えて



教育長 小沢 貞義

昨年の大震災は、私たちの心に大きな傷跡を残すと共に、また多くの教訓をもたらすものとなりました。卯年は飛躍の年として期待感を込めてのスタートでしたが、どんな年で飛躍の年となったのか、震災にあつたことと何を学ぶことができたのか改めて考えてみることはならないと思いました。

対する畏敬の念や生命の尊さ、郷土を愛する心や環境保全の大切さ等々。これらを教訓として生かしていくための努力が今私たち一人一人に求められているように思います。

宮城県気仙沼市、階上中学の梶原裕太さんの卒業式の答辞が、文部科学白書に全文掲載されました。

「……自然の猛威の前には人間の力はあまりに無力で、私たちが大切なるものを容赦なく奪っていきまされた。天が与えた試練と云うには、むごすぎるものでした。……辛くて悔しくて堪りません。しかし、苦境にあつても天を恨まず、運命に耐え、助

け合つて生きていくことがこれからのわたしたちの使命です。……」

この震災を受け、当町においても小学生や中学生が、自分たちでできることは何かと児童会や生徒会で話し合い、空き缶集めなどをして得た収益を、義援金として町長さんに託しました。また各種団体や多くの町民からの温かい支援の手も数多く寄せられました。いずれも被災地やそこに住む方々の一日も早い復旧・復興を願つてのものでした。

一方で、子ども達を中心としたあいさつ運動の広がりは明るいニュースとなりました。「石仏の心に響くありがとう」をキヤッチフレーズに学校や職場、地域において、人と人をつなぐ明るいあいさつの声が町内のあちこちで響いたことは、本当に嬉しいことでした。こうした普段からの地域コミュニティの大切さも今回の震災で学んだことでした。幼児から高齢者まで老若男女が互いに尊重しあい、関わりつながら、支え合つて生きていく明るく住みよい町づくりを。そんな呼びかけが日常のあいさつを通して子どもから発せられ、その輪が地域に広がつたことは、未来につながる飛躍の一步であつたのかも知れません。

さて今年は辰年、辰にあやかり文字通り町が立ち、子どもや地域住民が立つ、健康で安全、よりよい年となることを共に願いたいと思います。



### 震災、そして新成人の私にできること



西豊 岡本 恵

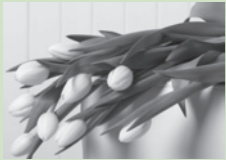
私たち新成人の多くが二十歳を迎えた二〇一一年、歴史に残る出来事が日本で起こりました。三・一一の東日本大震災です。現在私は福島大学に籍をおく学生です。テレビの中の大津波や原発での事故は、決して人事ではありませんでした。

その時から、私が大人への一步を踏み出し始めたその年は、日本が震災復興への一步を進めるその年にもなりました。その中で、私には何ができるか考えました。日本のために、たった一人で長野からやってきた私を助けてくれた福島のために、そして二十年間私を育ててくれた下諏訪町のためにです。大人になるために、たった一步を踏み出したばかりの私に何ができるかはまだわかりません。それでも私は、「日本は震災で大きな被害を受けた。でも……」に続く言葉を作る力を、私たち新成人はもっていると信じています。

「大人の社会は砂漠であり、私たち若者は、大人になって砂漠に飛び込まなければならぬ」と書かれた小説を、読んでことがあります。しかし、今私たちの前に広がるのは砂漠より厳しい、たくさんさんの大震災の傷跡を残した社会です。私はそこに飛び込んでいかなければいけません。震災の傷跡を、傷跡のままにしたくはありません。私は、いままで私に手を差し伸べてくれた多くの人たちのために、私もその傷を癒すことができる一つの手になりたいです。

### ご成人おめでとうございます

～震災復興への第一歩を～



萩倉 小河原 稜太

### 「大人とは何か」探し始める

私は今、親元を離れ一人暮らしをしています。自分のことをよく知る親や友人がいない土地で生活してみても、人と関わり合うことの大切さを知りました。講義、部活、サークル、バイト、それぞれの場所で関わる全ての人が、私を成長させてくれます。この地で知り合った友人、恩師への感謝の気持ちは、一生忘れずにはならないものだと強く感じます。

また、両親への感謝の気持ちも、一人暮らしをしてより強くなりました。今こうして多くのことを学び、充実した日々を送ることができているのは、親の支えがあるからです。普段ろくに連絡もせず、実家に帰つても、気恥ずかしくて素直になれませんが、本当に感謝しています。

成人式を迎えて、社会的には大人になりますが、人としてはまだまだ半人前です。知らないことが多く、経験しなければならぬことも、まだまだたくさんあります。それでも、世間は私たちが大人として扱い、一人前としての能力を要求します。恐らく、多くの失敗や挫折を味わうことでしょう。今までなら失敗を次に生かせば良いという考えが、周りからも認められていました。しかし、大人になれば、そこに自覚と責任が伴います。大人とは何か。その答えを探し始めることが、大人としての第一歩ではないでしょうか。